

決済手段の多様性について

身近に、キャッシュレスに対応したお店が増えてきました。レジでスマホをかざしている人をよく見かけます。キャッシュレス決済とは、文字通り「現金を使わない決済」のことで、「電子マネー」「〇〇Pay」「QRコード決済」「クレジットカード」「スマホ決済」など、全てキャッシュレス決済です。

法改正により、銀行以外の事業者が金融サービス事業をすることが可能になったため、参入が相次ぎ、決済手段も多様化してきています。特に、スマホの普及とともに、専用端末が不要で店舗側の導入コストが安く、急速に広まっているのがQRコード決済（「〇〇Pay」の多くがコレ）です。技術的な参入障壁が低いことからベンチャー企業の参入も多いですが、過渡期でリスクもあるので、ポイント還元などに釣られずに熟慮し、管理ができる範囲で利用することが大切です。

QRコード決済以外の方法も、技術の進展、普及が進むにつれて、サービス内容も変わってきており、

電子マネーへクレジットカードからチャージができるようになる（前払いが後払い）など、今までできなかったことが可能になってきています。また、キャッシュレスは利用履歴が記録されていて、いつでも、いくら使ったかが確認できるので、家計簿アプリなどと連携するとお金の管理などが便利になります。半面、その多くはスマホなどの情報機器を使うため、個人情報流出などのトラブルに巻き込まれる場合もあるので注意が必要です。

現金決済も含めて、自分に合った決済方法をよく理解し、用途に応じて活用することで、キャッシュレスのリスクを低減し、メリットを享受する「いいとこ取り」を考えてみてはいかがでしょうか？（※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です）

愛媛県金融広報アドバイザー
岡田純子